

「がまだす里モン」の4年間の成果

熊本県内のさまざまな地域で、地域の資源や特色を活かして、地域の課題解決に、商品開発や販売に、魅力の発信などに取り組む「がまだす里モン支援事業」の採択団体の中から、以下の活動を紹介した優良事例集を作成しました。「くまもとふるさと応援ねっと」のホームページからダウンロードできます。



URL <https://furusato.pref.kumamoto.jp/>

1. 人材育成、確保のための取組み

上床水源の地保存会 (宇土市)



上床水源とその周辺を整備し、地域を次世代につなぐとともに獣害を防除

クラフトワーク南小国 (南小国町)



小国杉を使った木育活動のワークショップやイベント開催

かじむき・しゅんなめじょ 小川班 (球磨村)



伝統的行事の「楮（こうぞ）」の手すきと紙づくりの体験会

2. 活動資金確保のための取組み

三角サトウキビ活性会 (宇城市)



体験学習による黒砂糖の伝統製法の伝承と黒砂糖を活用した特産品開発

槻木みつまた (多良木町)



「三極（みつまた）の木」を活用した『ホワイティンテリア』の販路開拓

黒川温泉観光旅館協同組合 (南小国町)



黒川温泉街から出る生ゴミたい肥を用いたトマトの加工品開発

3. 活動の発展性を高めるための取組み

ましきフットパスの会 (益城町)



フットパスコースのパンフレット制作とフットパスイベント開催

小川まちかど編集部 (宇城市)



国登録有形文化財「風の館塩屋」紹介パンフレット制作とイベント開催

南小国町あか牛販売会 (南小国町)



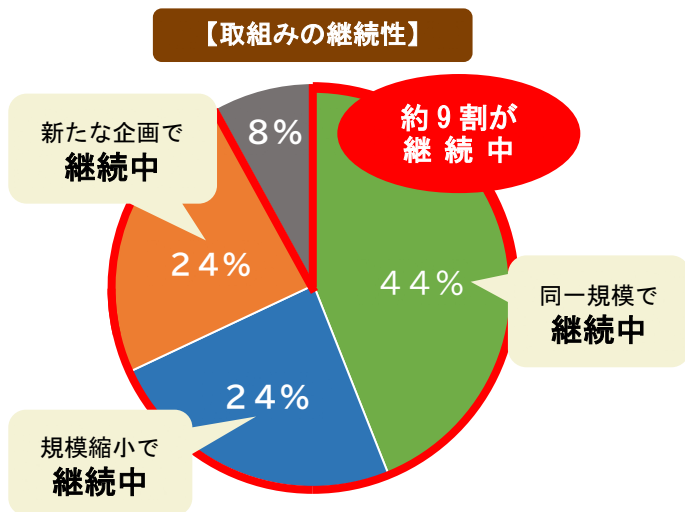
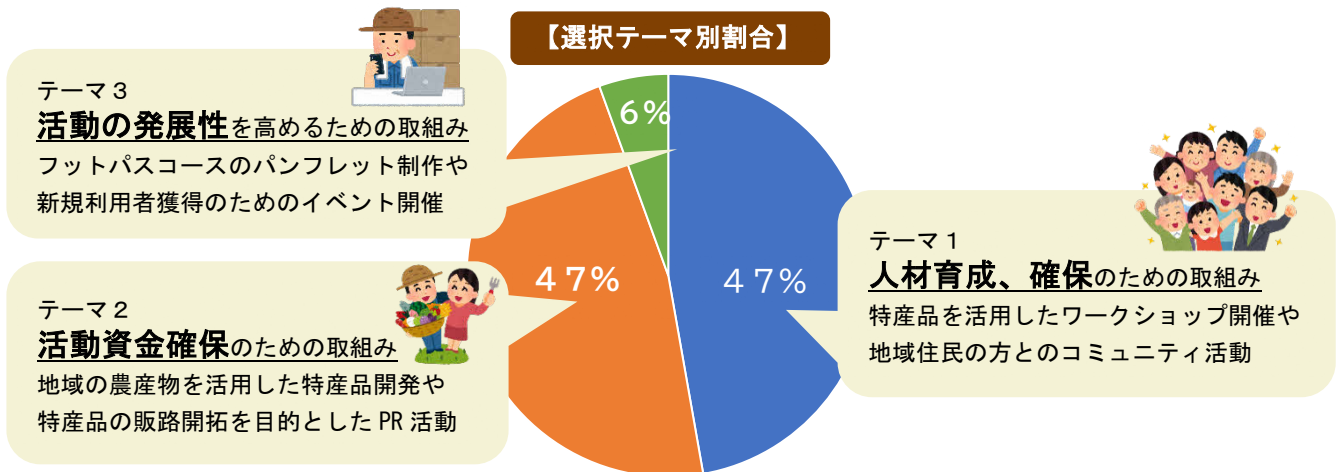
あか牛（経産牛）の肥育と特産品化のための勉強会

詳細は、上記のQRコード「くまもとふるさと応援ねっと」ホームページから！

がまだす里モン支援事業での取組み

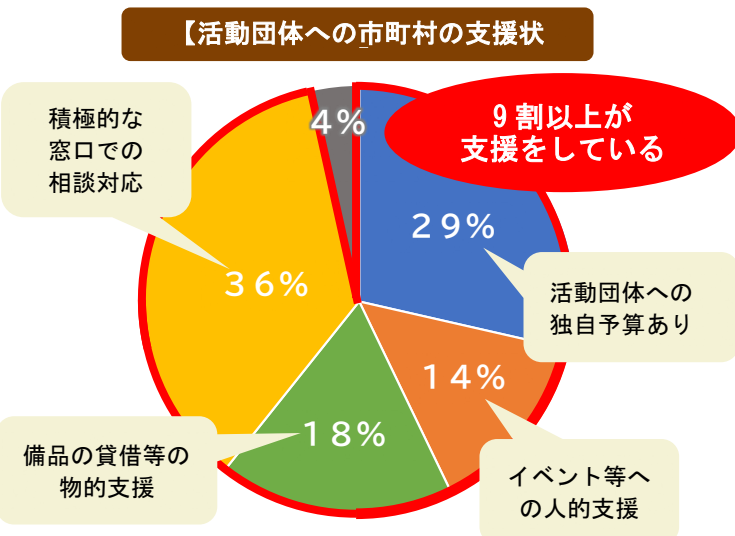
「がまだす里モン支援事業」では、地域活動の芽吹きを生み出すことを目的に、地域の活性化を図る県と市町村が、地域の活動団体を支援してきました。令和2年度（2020年度）から令和5年度（2023年度）までの4年間で約46件の地域活動の芽吹きが生まれました。地域の農産物を活用した特産品開発や地域のPRイベント、地域コミュニティ向上のための景観維持などの活動が行われました。

以下では、がまだす里モン支援事業の全採択団体と市町村を対象に県が実施したアンケート結果をご紹介します。



新たな取組みは？

- ・ 事業で開発した商品の販売や販路確保
 - ・ 地元の特産品を活用した新商品開発
 - ・ 新たなフットパスコースの作成
 - ・ 景観整備をととした地域コミュニティづくり
 - ・ オンラインを活用した新たな情報発信 等
- 事業支援を契機に活動が発展しています。



市町村の応援は？

活動団体の自走化に向けては、市町村からイベントや会議等の職員による手伝いや備品の貸借、窓口における相談対応等、積極的な支援が行われています。

[発行者] 熊本県

[所属] むらづくり課

〒862-8570

熊本県熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

☎096-333-2415

[発行年度] 令和5年度（2023年度）